

75歳以上の  
皆さまへ

# 平成29年4月から、 医療保険料の軽減率が 変わります

75歳以上の方の保険料は、

- ① 年収に応じて納めていただく部分(所得割) と、
- ② 全員に納めていただく定額部分(均等割) があります。

平成29年4月から、75歳以上の方の保険料が下のよう  
に変わります。

## 1 所得割の額が変わる方

年収 約153万円～約211万円の方

平成28年度までの所得割は、  
特例的に**5割軽減**されていましたが、  
29年度は**2割軽減**になります。  
(均等割の定額部分は変わりません)



## 2 均等割の額が変わる方

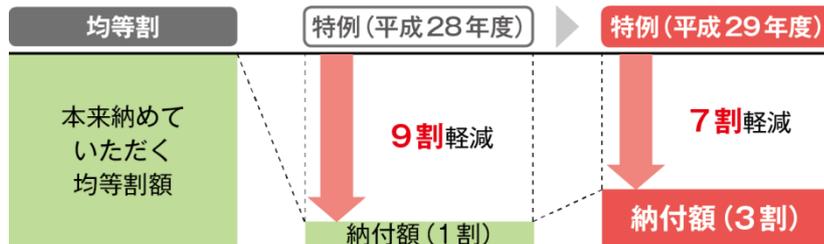
元被扶養者で、特定の要件に該当する方

元被扶養者とは 75歳になる前日に、ご家族の会社の健康保険などで被扶養者だった方

特定の要件の例 単身の方であれば、年金収入が168万円を超える方など  
75歳以上の夫婦2人世帯であれば、一方の年金収入が168万円を超える場合など

平成28年度までの均等割は、  
特例的に**9割軽減**されていましたが、  
平成29年度は**7割軽減**になります。

※ただし、元被扶養者であっても、世帯の所得が低い方は、均等割の軽減(9割軽減、8.5割軽減)が受けられません。



## 保険料を年金からの引き落としで納めている皆さまへ

年金からの引き落としの場合、  
前半(4月・6月・8月)の保険料は前年度と同じ額を引き落とし、  
後半(10月・12月・2月)で残りの保険料を調整します。  
そのため平成28年度よりも平成29年度の保険料額が増えますが、  
**実際に引き落とし額が増えるのは、10月からです。**

引き落とし額の間違ひではありませんので、  
ご注意ください。

[引き落とし額の例] 元被扶養者に該当する方の場合

平成28年度の保険料額 年額 <b>4,530円</b>						
700円	700円	700円	830円	800円	800円	
平成29年度の保険料額 年額 <b>13,590円</b>						
800円	800円	800円	3,790円	3,700円	3,700円	
4月	6月	8月	10月	12月	2月	

※実際の金額は、都道府県ごとに異なります。

お問合せは  
こちらまで

- 各都道府県の後期高齢者医療広域連合
- お住まいの市町村の後期高齢者担当窓口

厚生労働省 高齢者医療制度

検索



▲保険料の詳しい内容については、こちらからも確認できます